

《特別寄稿》

## ICD創設者奥村鶴吉先生に関する再調査の報告 —国際理事の委員会活動を通して—



ICD日本部会国際理事

橋 本 光 二

### ●抄 録●

国際本部は、毎年1回世界各地で国際理事会を開催している。2日間の日程で、1日目は全体会議と各種委員会、2日目は全体会議である。

2014年度の国際理事会歴史委員会 History committee の委員長を小生が担当する事になった。国際本部ではICD創設者である Dr. Louis Ottofyと奥村鶴吉先生の事を改めて調査したいという意向があり、日本部会の私に奥村先生の事を調査して欲しいと連絡してきた。

奥村鶴吉博士は東京歯科大学の学長を務められた御高名な方である。

Wikipedia (2010年12月26日更新版) では

奥村鶴吉 [1881年 (明治14年) 12月10日—1959年 (昭和34年)] は、日本の医学者。

専門は細菌学。神奈川県中郡秦野町 (現・秦野市) 出身。

来歴

東京歯科医学専門学校校長・東京歯科大学学長・東京歯科大学理事長などの要職を歴任した。

という記載がある。

他に、東京歯科大学百年誌、同120周年記念誌、1991年 (平成3年) に竹内光春東京歯科大学名誉教授が書かれた「奥村鶴吉小伝」などの他、ICD日本部会森山徳長マスターが日本歯科医史学会で発表あるいは学会誌に書かれた論文、国際歯科学士会雑誌またICD日本部会創立40周年、50周年記念誌などに書かれた記事など多数の文献がある。

今回、上記の書籍、論文を参考にさせて頂き、2015年国際理事会で歴史委員会委員長として小生が報告したレポートの日本語版を示し、さらに今まで分かっていなかった御遺族の消息について、お孫さんの吉井京子さんから伺った話を紹介する。

キーワード：奥村鶴吉博士、国際歯科学士会 (ICD) 創設者、歴史委員会、御遺族

国際本部役員として国際理事があり、毎年1回世界各地で国際理事会を開催している。2日間の日程で、1日目は全体会議と各種委員会、夜は懇親会、2日目は全体会議で最後は執行部の交代式で終了となる。

2014年度の各種委員会の中で歴史委員会 History committee の委員長を小生が担当する事になった。国際本部ではICD創設者である Dr. Louis Ottofyと奥村鶴吉先生の事を改めて調査したいという意向があり、

日本部会の私に奥村先生の事を調査して欲しいと連絡してきた。

奥村鶴吉博士は東京歯科大学の学長を務められた御高名な方である。

Wikipedia (2010年12月26日更新版) では

奥村鶴吉 [1881年 (明治14年) 12月10日—1959年 (昭和34年)] は、日本の医学者。専門は細菌学。神奈川県中郡秦野町 (現・秦野市) 出身。

## 来歴

東京歯科医学専門学校長・東京歯科大学学長・東京歯科大学理事長などの要職を歴任した。

という記載がある。

他に、東京歯科大学百年史、同120周年記念誌、1991年（平成3年）に竹内光春東京歯科大学名誉教授が書かれた「奥村鶴吉小伝」などの他、ICD日本部会森山徳長マスターが日本歯科医史学会で発表あるいは学会誌に書かれた論文、国際歯科学士会雑誌またICD日本部会創立40周年、50周年記念誌などに書かれた記事など多数の文献がある。

東京歯科大学卒業の方は博士がどのような方か、もちろんご存知であろうが、日本大学歯学部卒業の小生が奥村博士のお名前を初めて知ったのは歯記列伝（榊原悠記田郎、クインテッセンス出版、1995年）を読んだ時である。本書は1992年から1995年まで雑誌クインテッセンスに連載された日本の歯科界に多大な貢献をされた方々を紹介されたもので、その中で「血脇守之助の帷幄の人・30年間のナンバー2」という副題が妙に印象に残っていた。この「帷幄」というのは「帷幄の臣」などと使われ、「主君のそばにいてこれを補佐する臣。参謀。」という事であった。その記事には「ICD創立者の一人」などという記載はみられなかったが、後年このような形で原稿を書かせて頂く事になったのも不思議な縁である。

以下に、上記の書籍、論文を参考にさせて頂き、2015年国際理事会で歴史委員会委員長として小生が報告したレポートの日本語版を示す。

## 2014年国際歯科学士会（ICD）

## 歴史委員会レポート

委員長 橋本光二



Dr. Tsurukichi Okumura

奥村鶴吉博士（ICDの創立者の1人）の個人史

1881年12月10日 神奈川県  
秦野町に  
生まれる。

父は歯科医師であり、1868年から歯科医院を開業していた。

1959年2月4日 77歳で逝去

1898年6月25日 高山歯科医学院（東京歯科大学の前身）を卒業

1899年 歯科医院を開くための開業試験に合格（第595号）

1904年～1906年 ペンシルバニア大学歯科部を卒業（歯学士：D.D.S）

1906年8月～ 東京歯科医学院（東京歯科大学の前身）の講師

1907年 この年に設立された東京歯科医学専門学校（東京歯科大学の前身）の教授

1909年1月28日 澤田エイと結婚

1920年11月 ICDのアイデアが日本の東京で Louis Ottofy博士と奥村鶴吉博士によって出された。

1924年 医学博士を取得（東京慈恵会医科大学、東京、日本）

1927年12月31日 ICD（国際歯科学士会）が公式に誕生した。

1946年 東京歯科大学歯学部長

1947年 東京歯科大学学長

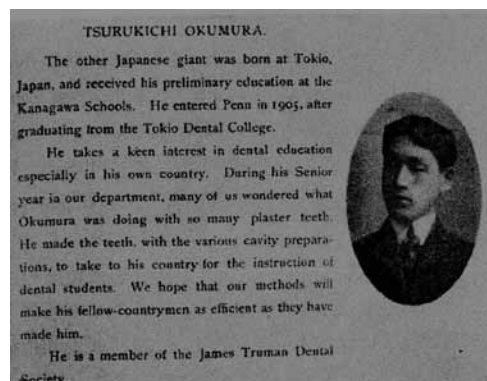


図1 ペンシルバニア大学の卒業記念アルバム(1906年)  
fig. 1 Graduation Album of University of Pennsylvania in 1906 year



図2 奥村鶴吉博士  
fig. 2 Dr.Tsurukichi Okumura



図3 東京歯科医学専門学校のエデュケーションスタッフ（奥村教授は左下）

fig. 3 Education Staffs in Tokyo Vocational College of Dental Medicine (Professor Okumura is lower left)



図4 奥村教授（中央）と野口英世博士（右側）  
fig. 4 (lower left) Professor Okumura (middle) and Professor Hideyo Noguchi (right)

（図：東京歯科大学百年史、東京歯科大学創立120周年記念誌等から）

以下の記述は奥村鶴吉博士の孫である奥村道夫博士によって、小生に送られた物に後述する吉井京子さんからの情報を加えたものである。

#### 奥村鶴吉博士の御遺族について

3人の子供さん達：

1. 奥村泰造博士 1919年（大正8年3月）生まれ  
慈恵医大を卒業した医師。潜水艦に乗船する軍医であったが、第二次世界大戦で亡くなった。
2. 山口和子さん 93歳  
海軍軍人であった山口晋吾氏と結婚。現在は埼玉県入間市に住んでいる。吉井京子さんの母。
3. 奥村興治博士 89歳  
奥村道夫博士の父で1955年頃から米国に在住している。フルブライト奨学生の第1期生であった。東京工業大学を卒業し、博士の学位をミズーリ大学/Columbiaから物理学で取得し、それから最初はカナダのオタワ（カナダ国立研究評議会、NRC）で勤務し、その後ロチェスター（NY）に移り、定年退職までゼロックスで勤務した。彼は津田アキコと結婚し、3人の子供に恵まれた。彼と彼の妻はニューメキシコのサンタフェに住んでいる。

奥村鶴吉博士のお孫さん達：

奥村道夫博士（図5）と1人の弟（俊夫）と1人の妹（百合）の3人のお孫さん達がおられる。

奥村道夫博士は2013年1月にICD国際事務局へ連絡を取った。彼と弟は米国で生まれた。彼の妹はカナダに生まれたが、現在はアメリカ市民で弁護士である。

彼は1979年にエール大学を卒業した。現在はカリフォルニア工科大学の化学、物理化学部門の教授である。

研究室のホームページは<http://okumura.caitech.edu.home.html>



図5 奥村道夫教授  
fig. 5 Professor Michio Okumura



図6 奥村鶴吉博士と義理の娘アキコさん

この写真は1950年代に撮影された。(奥村道夫博士提供)

fig. 6 Dr. Tsurukichi Okumura and his daughter in law Mrs. Akiko Okumura

This photograph was taken in 1950's (Courtesy of Dr. Michio Okumura)

以上であるが、今回このレポートを作成するに当たって従来からの記事に加えたかったのは、御遺族の現在の状況であった。

2011年にインドのニューデリーで行われた国際理事会の際に、当時の歴史委員会委員長であった、Dr. Charles M. Simons (USA部会) から創立者である奥村鶴吉博士のお孫さんの連絡を取りたいが、何か情報を持っていないかと尋ねられた事がある。その時は「全く分からない」と答えるしかなかった。

2014年のICD日本部会認証式で来日された、John V. Hinterman事務局長 (USA部会) から奥村博士のお孫さんが米国California州の大学でChemistryの教授をしているという話を耳にした。昨年夏にInternetで調べて見たら運良く上記のレポートに書いたDr. Michio Okumuraの名前が分かり、彼にe-mailを送ってみた。それまでの経緯を日本語で書いて送ったら、英語のメールが返信されてきた。米国での生活が長く、殆んど日本語は分からないという事であったので、それ以後は英語のメールでのやり取りとなった。彼から得られた情報は上記レポートの「奥村博士の遺族について」に書いたものと写真1枚であった。彼の父で奥村博士の御次男、Dr. Koji Okumuraと連絡が取れればと思ったが89歳と高齢で、御病気の為ほとんど話は出来ないという事であった。またDr. Michio Okumuraは祖父の奥村鶴吉博士についての記憶はほとんどないという事で、レポートの奥村鶴吉先生の3



図7 奥村鶴吉博士のお孫さんである吉井京子さん

fig. 7 Mrs. Kyoko Yoshii who is granddaughter of Dr. Tsurukichi Okumura

人の子供さんについての情報が得られただけであった。

そこで思い出したのが、Hinterman国際本部事務局長が来日した時に大岡 洋フェローから奥村鶴吉博士のお孫さんを治療しているという話を聞いたという事であった。大岡フェローに確認してみると、確かに女性のお孫さんを患者さんとして知っているという事で、現在東京の中目黒に住んでおられる吉井京子さんを紹介してもらって、連絡を取った。

お会いして話を聞かせて頂けるという事で、広報編集委員会の井上淳子委員長 (東京歯科大学卒) と2014年暮れに御自宅に伺い、1時間以上に亘って貴重なお話をお聞きする事が出来た。

奥村鶴吉博士は前述のように1881年神奈川県秦野町に奥村藤七、ふさ夫妻の長男として生まれた。他に長女静子、次女愛子、次男憲次、三男真次、三女栄子、四女郁子と6人の弟妹があった。なお次男憲次の長男である奥村晴一氏は東京歯科大学を卒業し、奥羽大学副学長になられた方である。父の藤七は歯科医院を開業していたという事であるが、三男奥村真次氏の長女である宇野美恵子氏が個人的に書かれたものによれば、藤七は秦野市に鉄道を敷き、映画館を開業した事業家で、晩年に人を雇って歯科医院を経営したという事で、本人は歯科医師ではなかったようである。

奥村鶴吉博士が歯科医師になり、その後東京歯科大学学長になられた事についてはここでは割愛させて頂くが、吉井京子さんから、1952年(昭和27年)の口腔衛生学会で特別講演をされた時の録音テープと、アルバムを提供して頂いた。いずれも貴重な資料である。このテープをダビングして奥村道夫氏に送ったとこ



図8 奥村鶴吉・エイ夫妻のお墓  
東京都小平霊園 23区28側14

fig. 8 Tomb of Dr. and Mrs. Tsurukichi Okumura  
(Courtesy of Dr. Setsuya Suzuki)

ろ、大変感謝して頂き、早速父である奥村興治博士に聞かせたという事であった。

また、奥村鶴吉博士・エイ御夫妻のお墓が小平霊園にあり、東京歯科大学が管理されているという事を吉井京子さんから伺い、鈴木設矢広報編集担当理事に写真を撮ってきて頂いた(図8)。

また吉井京子さんからお借りしたアルバムからの写真を下に示す(図9)。残念ながらアルバムには、撮影日や誰の写真か、などの記載はなく詳細は不明である。

最後になるが、今回の調査・取材でICD創設者の一人である奥村鶴吉博士に関し、従来からの資料の他に御遺族の現在など新たな資料を加え、報告する事が出来た。これも奥村道夫博士が自らICD国際本部に連絡を取ってくれた事から始まっている。

今後ICD国際本部の歴史委員会としては、もう一人の創設者Dr. Louis Ottofyについて調査するという雲をつかむような命題に挑戦しなければならないが、日本部会の一員として奥村博士の情報を提供出来た事は幸いであった。

また、吉井京子さんから「数十年連絡が途絶えていた従兄弟奥村道夫の情報を提供して頂き感謝します。今後は連絡を取り合います」というメールを頂いた事をお伝えして拙文を終える事とする。

#### 参考文献

- 1) 石川達也編：東京歯科大学百年史，東京歯科大学：559-579, 1991.
- 2) 榎原悠紀田郎：歯記列伝，クインテッセンス出版：161-167, 1995.
- 3) 柳沢孝影編：近代歯科医学教育を拓く 東京歯科大学創立120周年記念誌：42-49, 2011.
- 4) 森山徳長：日本部会成立の歴史，ICD日本部会50周年記念誌，2007.

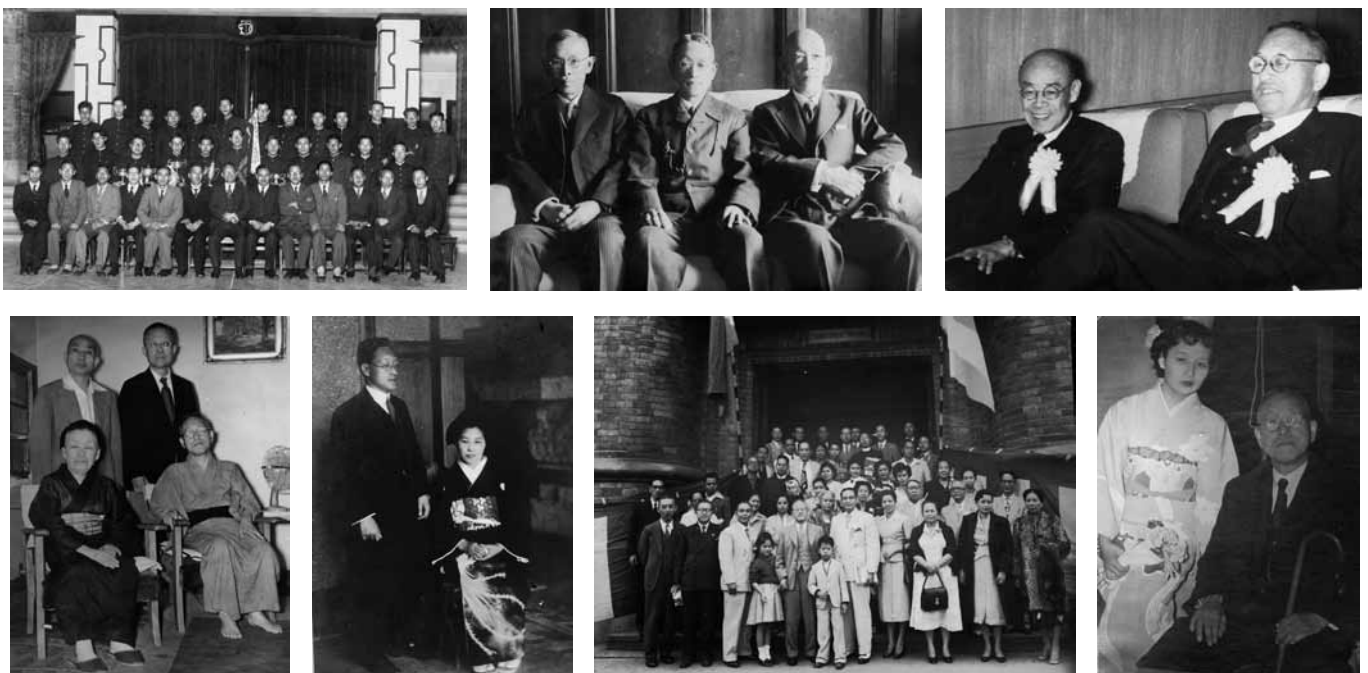


図9～15 奥村家に残されたアルバムから

fig. 9~15 Photos of Dr. Tsurukichi Okumura (from old photo album: Courtesy of Mrs. Kyoko Yoshii)

## Additional Report of the ICD Founder Dr.Tsurukichi Okumura

### —Activity of the Committee of the International Councilor —

*International Councilor of Japan section*

Koji HASHIMOTO, D.D.S., Ph.D., F.I.C.D

The International College of Dentists (ICD) hosts an International Councilor Meeting once every year sponsored by each section. In addition to the whole meeting, as for each international councilor, the meeting of the corresponding committee is held as well. I got to take over as chairperson in the history committee in 2014. The intention was to investigate once more Dr. Louis Ottofy and Dr. Tsurukichi Okumura who were two founders of the ICD. I was asked in 2014 by College officers to be the international Councilor of the Japan section to investigate the biography of Dr. Tsurukichi Okumura.

In this article, I would like to introduce my report which was submitted to the international councilor meeting held in Sydney (Australia) in October 2014, and also to report the interview with Dr. Okumura's granddaughter in December 2014.

**Key words :** Dr. Tsurukichi Okumura, Founder of International College of Dentists (ICD), History Committee, Information of Bereaved Family

YouTubeにアップしている  
奥村先生の肉声動画は、ICD日本部会ホームページ  
よりご覧いただけます。